



シリーズ

# 武雄の治水

vol.23

～水と共に生きるまちへ～

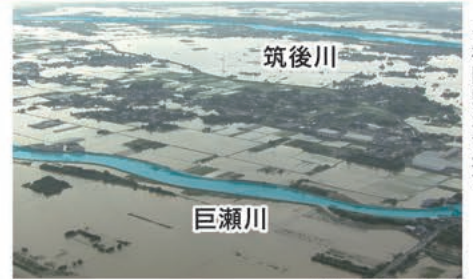
今回のテーマは

## 令和5年 出水期の振り返り

「出水期」とは6月から10月までの梅雨時期から台風シーズンまでの雨が多い時期のことをいいます。昨年の出水期を振り返ります。

### 梅雨前線による大雨

令和5年6月28日から7月16日にかけて、梅雨前線の影響により全国各地で大雨になりました。7月9日から10日にかけては、九州北部に線状降水帯が発生し、10日には福岡県、大分県に大雨特別警報が発表されました。この雨で福岡県久留米市、佐賀県唐津市などで土砂災害等により尊い命が失われるとともに、河川の氾濫による家屋浸水など甚大な被害が発生しました。

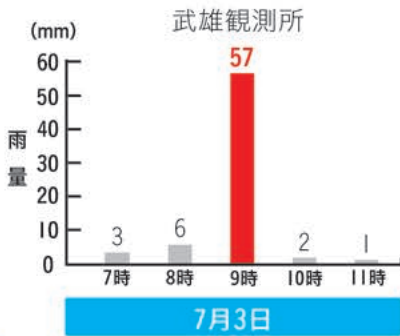


提供：九州地方整備局

福岡県久留米市

### 武雄市で降った雨は？

●この間、武雄市で最大の降雨量が記録されたのは



**最大57mm/h**  
午前8時30分頃から約30分にわたり非常に激しい雨となった。

**特徴**  
短時間の集中豪雨であったため、道路冠水や市街地での浸水被害が発生したが、解消するまでの時間は短かった。

●例年と比較すると8月以降は雨の少ない月が続いた

▼武雄市における降雨状況

年	月総雨量 (mm/月)					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和元年	53	167	491	679	138	103
令和2年	182	547	856	138	392	63
令和3年	321	179	136	1,362	155	7
令和4年	49	233	134	239	262	45
令和5年	338	339	398	178	143	36
過去15年の平均値	161	312	407	351	211	111

※雨量は、武雄観測所(国土交通省所管)で観測された数値を使用しています。令和4年以降の数値の一部は暫定値のため、今後変わる可能性があります。

### 雨の強さと危険度

雨の強さのみで災害に直結するとは一概には言えませんが、過去の災害時の降雨の状況を見てみると、時間雨量50mm以上の降雨が続くと災害につながりやすく、武雄市でも短時間の集中豪雨によって浸水被害が発生しています。

年/月	降雨の状況	時間雨量50mm以上の回数
令和元年 8月	8/28明け方に線状降水帯が発生。4時から3時間で200mmを超える豪雨となった。 8/27～8/28 総雨量432mm	3回 (3時間連続)
令和3年 8月	8/11から8/19にかけて、断続的に降り続く長雨となった。8/14未明から朝にかけて線状降水帯が発生。 8/11～8/17 総雨量1,122mm	4回 (うち2回が連続)

### 「1時間に50mmの雨」って？

降った雨が別の場所に流れずに、そのままたまった場合に「1時間に雨水が50ミリメートルの**高さ**までたまる」規模の雨です。滝のように降る非常に激しい雨で、視界が悪くなるほどの降り方です。



量じゃなくて高さなのか！

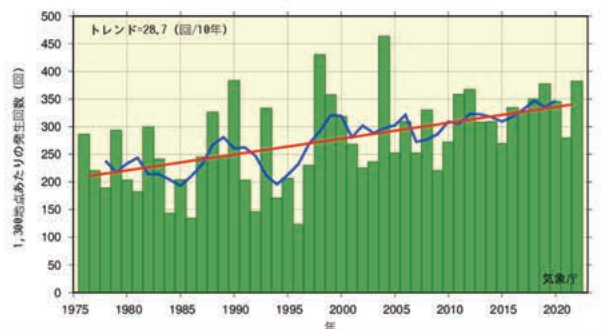
### 全国的な傾向と今後の予測

全国の1時間降雨量50mm以上の発生回数は、約30年前の約1.4倍に増加しています。気象庁の研究によると、地球温暖化の影響により、21世紀末までに短時間強雨の発生回数は**現在の約2倍**になると見込まれています。

流域全体での治水対策はもちろんですが、短時間強雨で浸水が発生する局地的な課題に対する対策も重要です。

**昨年7月の雨で発生した市街地の浸水被害を軽減するため、雨水をより適切に排水する対策を今年の出水期までに行う予定です。**

【全国アメダス】1時間降水量50mm以上の年間発生回数



詳しくは 企画部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

